

第3回 近畿周産期こころのケア研修会

周産期はいのちが誕生し、ヒトが人として生きていく上で必要な何かが新しく育まれる時期です。同時に、新しくいのちを抱えたおかあさんの身体と心はとてもデリケートです。特に赤ちゃんや出産に思わぬ事態が生じた場合には、身体もこころも大きく揺さぶられて、喜び以上に悲しみや不安に苛まれることも少なくありません。

周産期領域に関わる私たちは、そのデリケートな周産期の親子の身体とこころを、多職種で連携しながら、あたたかで柔らかな関わりでケアしてきました。

しかし、コロナ禍においては、周産期の親子関係にさまざまな影響が及んだのではないのでしょうか？そこで、コロナ禍を体験した周産期のこころのケアについて、グループワークを通して改めて再考したいと思います。

周産期のこころのケア — コロナ禍で気づいた大切なこと —

I 講演：周産期こころのケアが大切なのは、なぜ？

～ 今、あらためて考えよう ～

講師 山王研究所 橋本 洋子

II グループディスカッション： コロナ禍で気づいた大切なこと

日時 2023年2月18日(土) 10:00~12:00

形式 Web形式 Zoom

参加費 : 無料

*当日のアンケートにお答えいただいた方に、研修証明書を発行します。

募集人数 : 先着60名(先着優先)

参加資格 : 周産期の臨床に携わっている方(医師、看護師、助産師、心理職、保健師、学生、その他)

(注) 第7回近畿周産期精神保健研究会(別途申し込みが必要)に参加し、本研修会に最後まで参加いただける方に限らせていただきます。

申込期日 : 第1次締切日 2023年1月15日(定員になり次第締め切ります)

参加申込み方法 : 右下のQRコードからお申込みください。

主催 : 近畿周産期こころのケア研修班 共催 : 第7回近畿周産期精神保健研究会

後援 : 日本周産期精神保健研究会、周産期心理士ネットワーク

